

宮島包ヶ浦自然公園利活用検討協議会（第5回） 会議録（要点）

日時：令和7年2月10日（月） 9：30～11：30

場所：宮島栈橋旅客ターミナル2階 会議室

◎ 出席者 ※順不同

【委員】

有本 隆哉（前宮島旅館組合組合長）

佐々木 雄三（市議会議員）

中村 靖富満（宮島観光協会会長）

正木 文雄（宮島町総代会会長）

松本 誠（宮島町商工会会長）

村上 雅信（廿日市市副市長）

原田 忠明（廿日市市副市長）

木下 英治（廿日市市産業部長）

【事務局】

山田 実（廿日市市産業部観光課長）

◎ 公開・非公開について

- ・開会から閉会まで非公開により開催した。
（閉会後の取材対応等も行わない。）

○ 協議事項（宮島包ヶ浦自然公園利活用方針素案について）

○ 意見交換等（要点） ※順不同

発言者

- ・現在まで市に問い合わせがあった事業者を公開してほしい。
- ・具体的なイメージが湧かないし、富裕層が宮島観光を支えているとは思わない。
- ・旅館組合として賛成できない。
- ・公募を焦っているのは既に業者が決まっているからではないか。
- ・ホテルは市が誘致しなくても、需要があれば自ずとくる。
- ・従業員が少なく稼働できる宿泊施設にするべきでは（無人ログハウスなど）。
- ・公募の審査員は島内のことを把握していない大学教授等の参画には反対、かつ、島内代表者については少数だけ入れても市の思うように審査員構成を決めることが出来るのではないか、状況に応じて反対運動を強めるつもりでいる。
- ・高級ホテルを作っても、観光消費額は増えないのではないか。
- ・なぜオートキャンプ場やグランピングなどの宿泊施設の意見があったにもかかわらず、高級ホテルしか収益事業が成り立たないと考えるのか。
- ・広島は遊ぶところが少ない。そういった場所が必要で、収益エリアに宿泊施設が新しくできれば消費が増えると言うことに納得できない。
- ・「高付加価値旅行者向けの宿泊施設を誘致する」文言を削除していただきたい。

発言者

- ・ 富裕層は田舎に泊まる傾向が増えてきており、時代が変わってきている。
- ・ ADRを10万などに設定しても、広島市内のヒルトンが修学旅行生を受け入れているように市が左右できず経営の関係上その通りには必ずいかないと思う。
- ・ 検討会では包ヶ浦全体の活用として行ってきたので、収益エリアに絞って意見を検討会を出してもらおうべき。
- ・ 「高付加価値旅行者向けの宿泊施設を誘致する」文言を削除していただきたい。

発言者

- ・ 既に高級ホテルの事業者が決まっており、方針内容を策定しているとしか考えられない。
- ・ ホテルが対岸沿いに進出されてきているので、これ以上はいらないのでは。
- ・ 「高付加価値旅行者向けの宿泊施設を誘致する」文言を削除していただきたい。

発言者

- ・ 他所のよく分からない業者が入ってくることに島内の人は何よりも不安に思っている。
- ・ 収益エリアに絞って、みんなで考えていこうという会をすべきでは。

発言者

- ・ 宿泊施設のみでなく、高付加価値なサービスを今後提供できるのか考える必要がある。
- ・ 今まで上手くいかなかったことから、既存のままの自然公園として残すのは違うのではないか。
- ・ 税金をあまり使うことのないように考えていくべき。